



こんにちは、藤 恵子です！



2015年の活動は、大きな変化をもたらしそうな予感がしています。昨年度は「大丈夫！三世代で見守る安心子育てサポーター養成講座」（平成26年度岡山市市民協働推進モデル事業）20講座を、盛況のうちに終えることができました。反響も多く、次につなげたい熱い思いが有りましたが、今年度は、行政側からの理解と支援を得ることができませんでした。まだまだ力不足と反省する私達ですが、昨年12月に東京で開催された、内閣府主催「困難を有する子ども若者の相談業務に携わる民間団体職員研修会」（5日間）では、「マザーリーフは、誰もが寄る心の港であり、大切な癒しの場所として、一番必要な港です」と励まされたのを、深く深く思い出しています。派手な活動ではなく、見えない心の分野、予防の分野という地味な活動で、すぐには成果が見えにくい。理解して頂けにくいからこそ、謙虚に優しく、しっかりと寄り添いたいという思いが、ますます強く湧いてきました。

三年間入居したきらめき事務所も、駐車場の問題と、より動きやすい効果的な活動に向けて閉鎖し、5月からは、草ヶ部事務所のみになります。自主講座・協賛講座は、引き続ききらめきプラザの会議室・交流スペースを利用しながら、今後は各地域での活動も予定しています。

現在、子育て支援グループ、相談員グループ、公民館活動グループから様々な案が出ています。夏休みには、一泊研修（8月11日・12日）が計画され、親睦会としては、4月のお花見・10月の紅葉狩りが予定され、仲間同士、横のつながりも深められます。サロン活動グループでは、「マザーリーフの歌」（作詞・作曲・伊藤慶治、歌手・石合洋子）がCD化されました。歌詞同様、マザーリーフのスタッフは、明るくて感じが良い仲間だと言われています。そのことが一番の喜びでもあります。一人一人が自己実現に向けて、内観と仲間との調和を大切に、各々のテーマに向かっていく姿に感動しています。新しい会員を常に迎えるべく、おごり高ぶらないように、謙虚と感謝の心で過ごしたいと願い祈ります。

マザーリーフにご関心のある方は、いつでもお声をおかけください。お待ちしております。

感謝の内に…… NPO法人マザーリーフ理事長 藤 恵子



マザーリーフという植物があります。この植物は、「聖なる葉」「幸福を呼ぶ葉」と呼ばれています。一枚の葉から芽が出て、どんどん増えていきます。葉から芽が出てどんどん広がっていくように、各地域の子育て支援や高齢者支援で活動できる人材が増えていくことを願い、2009年9月18日「NPO法人マザーリーフ」は発足いたしました。マザーリーフのマークは、葉をハートに見立て、握手をしています。人と人が支えあいつながっていったら、という思いを込めています。



マザーリーフTシャツを着てスタッフ集合



発行

NPO法人マザーリーフ
「マザーリーフ通信」編集委員会
事務所 岡山市東区草ヶ部1034-80
motherleaf.okayama@gmail.com